

| トップメッセージ |

# 地球的、社会的課題の解決と 企業としての成長を通じて、 新たな価値を創造し、 社会の発展に貢献します



代表取締役会長  
菅原 公一

代表取締役社長  
角倉 護

## 環境の変化に即応し、技術革新をリード

世界人口の増加、資源・エネルギー需要の増大、環境意識の高まりに伴いゼロ・エネルギー住宅等の省エネやサステナブルな社会実現へのニーズはますます高まり、IoTにより異業種が融合し、新たなビジネスモデルが創出されています。また、高齢化社会の進展と医療・介護市場等の拡大を受け、先進医療、健康、介護分野の事業機会がグローバルに拡大しています。さらに、新興国の食糧不足や先進国の高齢化を背景に食の多様化、食の高付加価値化のニーズも高まっています。

## 経営システム刷新により、 社会課題の解決を通じた成長戦略を加速

当社は2017年度から新たにスタートした中期経営計画において、地球環境保護や人口の増加、食糧問題、高齢化社会における健康増進等、社会が抱えるさまざまな課題の解決やIoT、AI等の技術革新による新たな価値創出を通じて社会の発展への貢献を加速するため、経営システムを大きく変更しました。

またこれに先駆け、2015年に「国連グローバル・コンパクト」に署名・参加し、人権、労働、環境、腐敗防止の4分野にわたる10原則に沿った企業活動を実践することで、カネカのアイデンティティ(経営理念)を国内外のステークホルダーの皆さまに広くご理

解いただくよう努めてまいります。

## プロダクトアウトからソリューションへ

Product Out から Market In、つまりソリューションプロバイダーの視点で成長戦略を具体的な行動に落とし込んで、変革のシナリオを一つずつ確実に実行に移していける組織にすることが今回の経営システム変革のねらいです。

具体的には、9つの事業部門を「Solutions Vehicle」(以下、SV)に改称し、ソリューション視点の成長戦略を遂行する組織としました。さらにその9つのSVをソリューション別に4つの新しいドメイン(「Solutions Unit」(以下、SU))に刷新し、「Material Solutions Unit」、「Quality of Life Solutions Unit」、「Health Care Solutions Unit」、「Nutrition Solutions Unit」にしました。

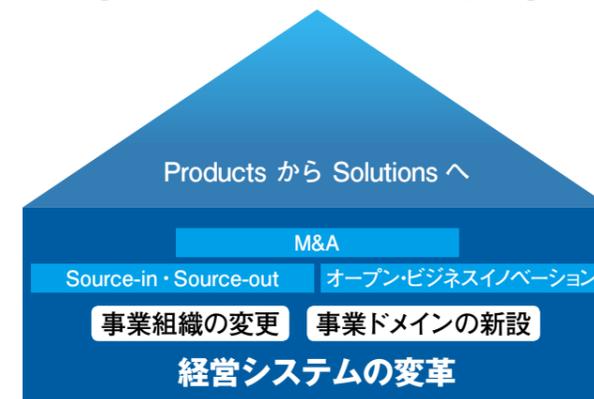
また、成長ドライバーを「R&D」、「グローバル化」、「人材育成」としながら、オープンイノベーションを積極的に実行し、コア事業の収益力強化と事業ポートフォリオの変革を加速します。グローバルな観点の取り組みでは、欧州、米州、アジアそれぞれに地域統括会社を設立し、より地域に密着したスピーディな経営を目指します。

事業活動を進める国や地域の文化や習慣を理解し、現地のお客様が求める製品を提供することが重要と考えています。

## 独創的な研究開発力と、それを実現する生産力を一層強化

当社の研究活動は、ソリューションプロバイダーとして、技術のグローバルソーシングとオープンイノベーションを強化しています。時代の先ゆく先端技術を積極的に取り込み、マーケットとお客様の目線に立った価値を追求しながら、独創的な技術開発によりオンリーワン、グローバルNo.1の優れた素材の提供を実現します。昨年、世界最先端の研究開発・産業の集積地である米国西海岸・シリコンバレーにコーポレートの研究・事業開発拠点を設立しました。

## [事業ポートフォリオ変革の結果を出す]



強い素材なくしてソリューション提供等できないという信念のもと、圧倒的な競争力を持つ「素材」を開発してまいります。

**M&A、オープンイノベーションによる非連続な成長を実現**

経営システムの変革に加え、長期ビジョン実現に向けた売上高の増加には、M&Aによる非連続な成長が不可欠です。Strategic Unit やコーポレートとSVが一体となって組織的にM&Aを推進していきます。

また、自前主義を捨ててオープンイノベーションによる、他社技術を起点とした技術革新や事業・製品のクラスター化を進めます。

このように国内・海外を問わず、先端技術の獲得や大学・ベンチャー企業とのオープンイノベーション、提携・M&Aを通じた新規事業開発のスピードアッ

プを図ってまいります。

**業務革新、働き方改革へのチャレンジ**

デジタル技術、IoTを駆使した業務改革、仕事の仕組みを変えて働き方改革を進めるために、業務改革部を新設しました。また、変革の実現には全社スタッフ業務を横断した連携が不可欠です。そのため、スタッフ機能・生産性向上会議を発足させ、部門の垣根を超えてトータルでのパフォーマンスを向上させていく考えです。

**成長力の源泉である人材**

**強いリーダーの育成とダイバーシティの推進**

変革を促す会社の仕組みの整備は進んでいますが、最も重要なのは変革を起こす人であり、カネカグループの成長力の源泉となります。

国内外で変革を担う強いリーダーの育成に注力するとともに、女性の活躍推進を含むダイバーシティを促進させ、グローバルに戦える集団づくりを進めています。カネカグループの10年後、20年後を支える人材をしっかりと育成することで持続的な成長を実現していきます。

**すべてにおいて「安全第一」を優先**

当社は、製造業において「安全は競争力そのもの」の考えのもと、あらゆる活動において「安全はすべてに優先する」ことを経営方針としています。トップによる工場巡回やCSR 安全・品質査察等、経営層と一

体となった継続した取り組みにより、安全や防災に対する意識や対策を高め、ゼロ災を実現してまいります。

また、2017年度から「環境に配慮した経営」を掲げ、自社における「環境配慮製品」を定義し、その充実・拡大を図っております。

長期ビジョンで掲げた目標に向けて、本中期経営計画は重要な位置づけです。

社会が抱える課題を解決し魅力ある企業像と競争力ある事業構造の実現に取り組み、当社を取り巻くすべてのステークホルダーの皆さまの期待に応え、高く評価される企業に変革してまいります。

**[経営システムの変革]**

**ソリューションプロバイダーへの変身**

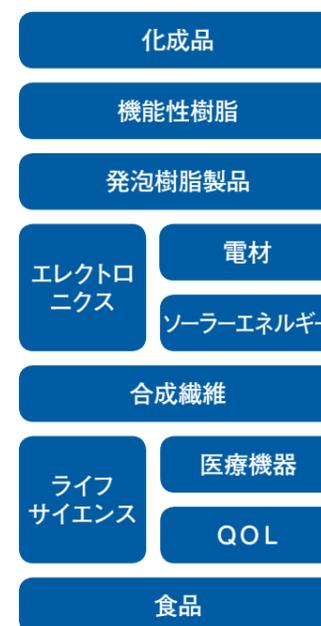
従来のように素材を提供するだけでなく、社会的な課題を解決するソリューションを提供する会社（＝ソリューションプロバイダー）へ変身し、成果にこだわり、変革と成長を実現します。

**大胆な経営システムの変革**

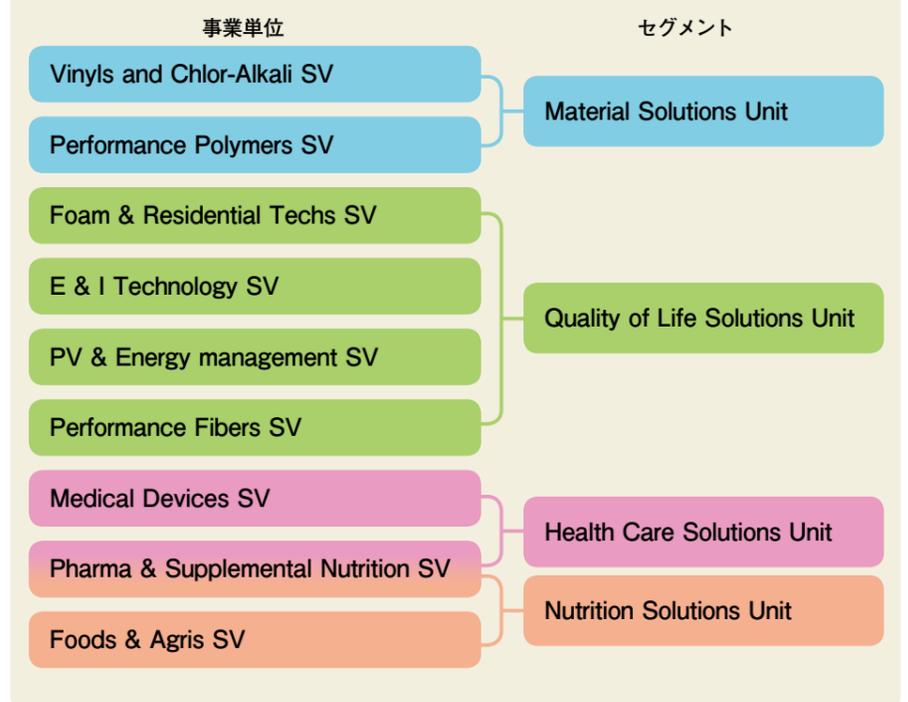
ソリューションプロバイダーへの変身に向け、従来の製品をベースにした事業部組織をSolutions Vehicle (SV) と Solutions Unit (SU) からなる新たな経営システムに変革しました。

<b>Solutions Vehicle</b> (事業単位)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソリューション視点に基づく成長戦略を実行するDriving Force</li> <li>・新たなビジネスモデルの創出やオープンイノベーション、アライアンス、M&amp;AなどSource-In・Source-Outを駆使し、事業拡大を推進</li> </ul>
<b>Solutions Unit</b> (セグメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各SVが提供するソリューションに基づいて設定した事業ドメイン</li> <li>・組織間の連携強化により社会的課題の解決に貢献</li> </ul>

**●従来の事業部組織**



**●新経営システム**



## 中期経営計画(2017~2019年度)

長期ビジョン「KANEKA UNITED 宣言」の実現に向け、カネカグループは常に企業価値の向上を目指していきます。

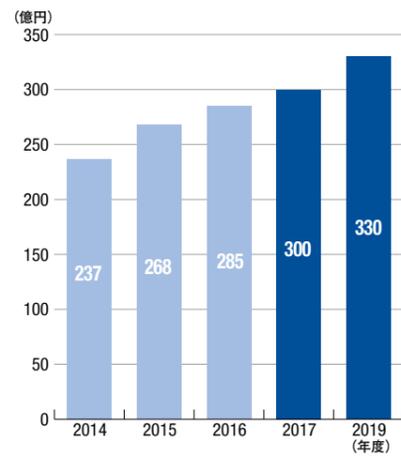
「R&D」「グローバル化」「資源投入」の3つの成長ドライバーにより事業ポートフォリオの変革を加速し、飛躍的な成長を実現させます。

### 成長ドライバー

#### R&D

- 社会的課題を解決するソリューションを提供するための競争力を持った素材を開発。特に市場・顧客の視点に立った独創的な技術開発を通じ、ソリューション志向を支えるオンリーワン・グローバル No.1の優れた素材を創出します。
- オープンイノベーションなど Source-In・Source-Out を積極的に活用、時代の先端を行く技術を獲得します。
- 積極的な資源投入を継続、新製品売上高比率30%以上を実現させます。

#### [R&D費]



#### [新製品売上高]



### グローバル化

- “Glocal”の視点から地域別の成長戦略をスピーディに推進します。
- アジアへの重点的資源投入は一巡 ⇒ 欧州・米州に再び成長投資へ。
- 欧・米・アジアの海外地域統括会社の機能を一層強化し、現地独自の視点やアンテナ機能を活用した戦略的な M&A・提携を積極的に実行します。

早期に  
海外売上高比率  
50%を目指す

#### 欧州

- 成長分野への積極的資源投入、M&A 実行 (Health Care、Material)
- 新規・未進出事業領域でのソリューションビジネスの積極的拡大

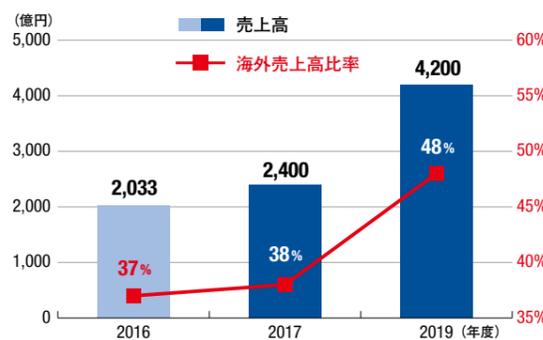
#### 米州

- 既存事業の更なる生産・販売体制強化
- Health Care 領域、航空宇宙分野での新規事業創出・拡大
- M&A・提携を積極的に実行
- カネカ US イノベーションセンターの戦略的活用

#### アジア

- 大型設備投資のリターンの最大化
- 中国・ASEAN・インド市場の拡大
- Health Care 領域での事業拡大

#### [海外売上高・比率]



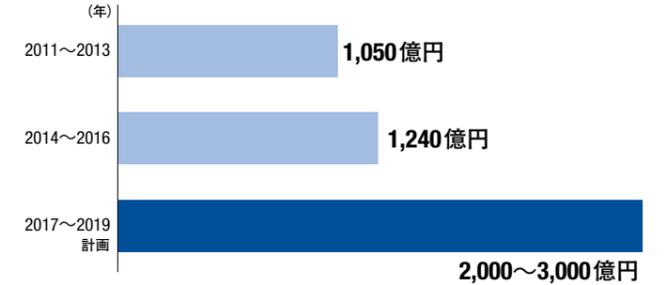
### 資源投入

- 設備投資及び事業提携・M&A などを含めた投融資として2,000～3,000億円を計画しています。

- 既存事業の周辺市場を主なターゲットとし、発展させた技術を用いた設備投資を推進
- 新規事業の本格的な量産設備を取得

- 既存技術とシナジーが発揮できる領域において、新規または周辺市場をターゲットとした投融資（事業提携・M&A など）を推進（Health Care、Nutrition 中心）。特に海外市場を中心に、技術やバリューチェーン等でのシナジーと、グローバルな価値を共有できる関係を構築。またM&A等、Source-in・Source-out を駆使し、グローバルに展開する No.1事業の競争力強化と事業拡大に注力します。

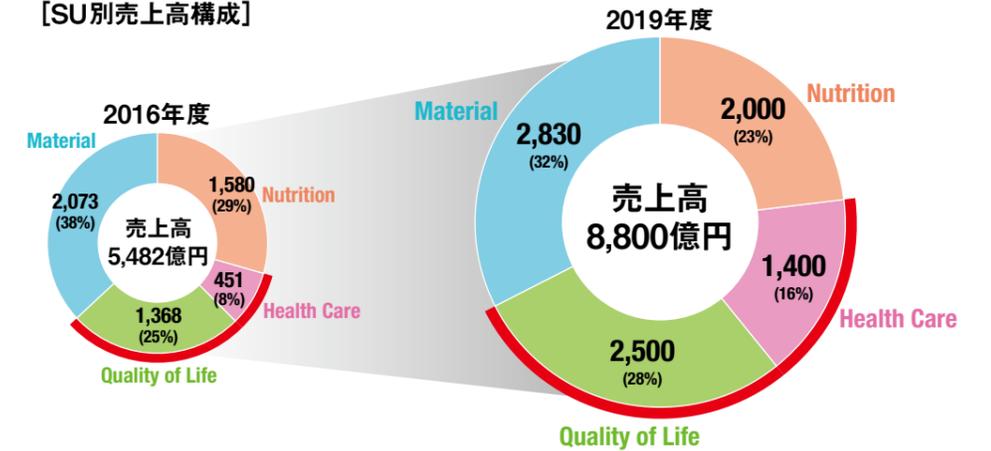
#### [設備投資・投融資]



### ポートフォリオの変革

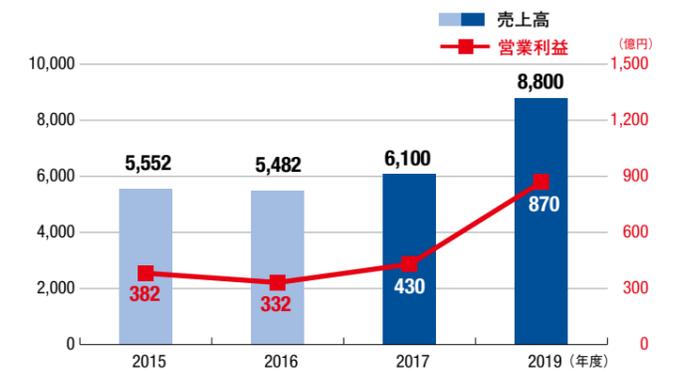
- 価値あるソリューションや新製品・新素材の提供、M&A の実行等により Health Care、Quality of Life の売上構成比を大きく拡大させます。

#### [SU別売上高構成]



### 業績目標

- 長期ビジョンで掲げた目標に向けて、本中期経営計画は重要な位置づけです。
- 為替・原油相場に加え、政治動向や地政学リスクなど不透明な要素が多いものの、新経営システムのもと、事業ポートフォリオの変革を加速させ、業績目標の達成を目指します。



※ 2017年のデータについては、2017年5月12日の決算公表ベース

# Solutions Unitの戦略

## Material Solutions Unit



時代環境の変化を先取りしながら、課題解決のために優れた素材を世の中に提供していきます

取締役専務執行役員 Material Solutions Unit 担当  
兼 Material Solutions Research Institute 担当

亀高 真一郎

先進的な優れた素材、製品・サービスの提供から、地球環境保護・省エネルギーや社会インフラの発展、モビリティ（自動車、航空・宇宙等）の発展にソリューションを提供するユニットです。コンポジットや生分解性ポリマー等先端技術に基づく新規ポリマー等、革新的な素材技術をリードします。

時代の変化は激しく、例えば自動車では低燃費、軽量化、自動運転など、ここ数年で素材・IoT で目を見張る技術革新が進んでいます。そのような変化の中には必ず優れた素材が必要になります。

私たちはこれらを大きな成長機会だと捉えています。

顧客となるメーカーのみならず、その先を見極めながら新たな素材を提供することにより、様々な課題を解決していきます。

### 地球環境保護と快適な暮らしに貢献

- ・発展する社会インフラ、モビリティ（軽量化・燃費向上）などに向け、優れた素材を提供
- ・バイオポリマーなど、環境社会に直接役立つ素材をソリューションとして提供



## Quality of Life Solutions Unit



事業部門が持つ各々の特長を最大限に発揮させ、「情報化社会」「暮らし」に貢献するソリューションを提供していきます

取締役副社長 Quality of Life Solutions Unit 担当

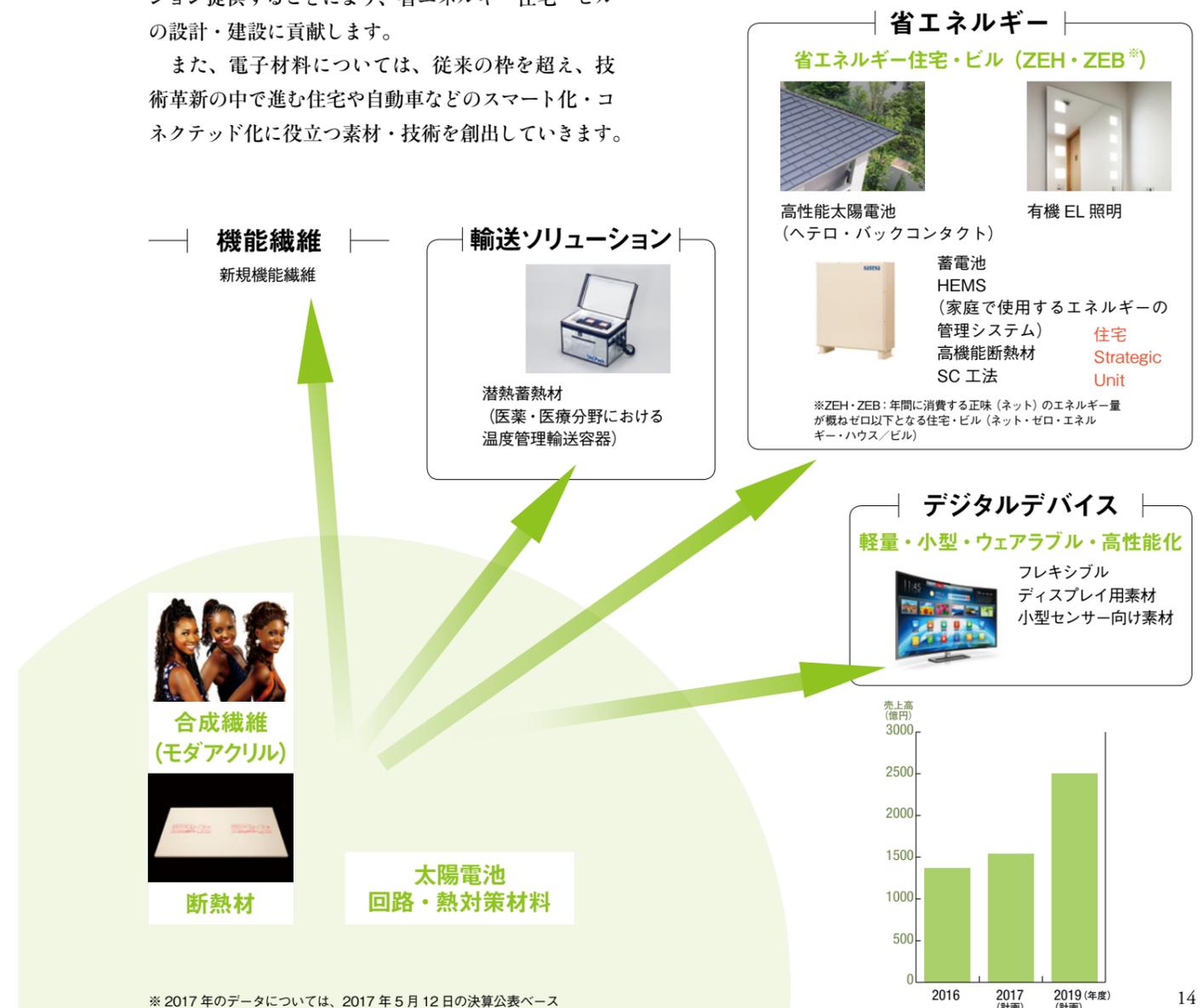
田中 稔

省エネルギーや生活インフラの利便性・快適性の向上、デジタル技術革新による情報化社会で新たな価値創出など、人々の「豊かな暮らし」の創造に貢献するユニットです。市場ニーズに直接アクセスし、優れた素材と独自のサービスをソリューションとして提供します。たとえば、太陽電池、断熱材、ソーラーサーキット工法、有機EL照明などをパッケージでソリューション提供することにより、省エネルギー住宅・ビル

の設計・建設に貢献します。また、電子材料については、従来の枠を超え、技術革新の中で進む住宅や自動車などのスマート化・コネクテッド化に役立つ素材・技術を創出していきます。

### 省エネルギーと豊かな暮らしの創造に貢献

- ・省エネ住宅ソリューション提供 ⇒ 高品質でサステナブルな住宅市場の創出
- ・省エネとスマート化ニーズに対し優れた素材と独自のサービスを提供



## ネット・ゼロ・エネルギーハウスに対応するモデルハウスを建設し、多くの人に暮らしやすさを実感頂く活動を進めています

住宅のCO<sub>2</sub>排出量削減に向けて、政府は2020年までに「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス」(ZEH/ゼッチ)を標準的な新築住宅とする目標を掲げています。カネカは、「ソーラーサーキットの家」で培った省エネ技術と、太陽光パネルによる創エネ技術をあわせ持つ企業として、人と地球にやさしいソリューションを提供していきます。

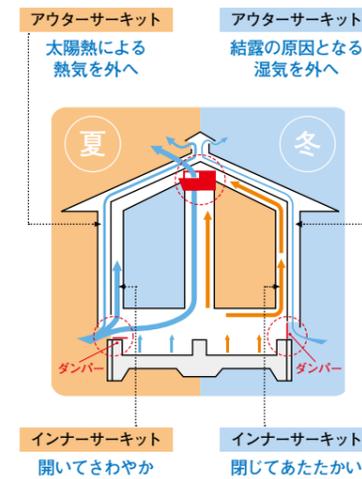
### 快適と省エネを両立する「ソーラーサーキットの家」

カネカの「ソーラーサーキットの家」は、高断熱・高气密によって快適と省エネを両立した戸建住宅です。屋根から基礎まで家全体を断熱材「カネライトフォーム」で隙間なく包み、「気密シーリングテープ」で断熱材の継ぎ目をふさぐことで、約40坪の家でも気密性能(隙間相当面積)がハガキ1枚分という高气密を実現しました。

また、外壁と内壁の間を活用して、自然のエネルギーを上手に利用します。床下と屋根裏にダンパーを設け、

夏はダンパーを開くことで風の流れを作り、冬はダンパーを閉じて熱を外に逃がしません(右図)。さらに、フィルターと除湿機能付きの24時間換気システム「リフレア」が、外気の花粉等を取り除きながら、夏は除湿、冬は加温した空気を室内に送り込むので、エアコンに頼りすぎることなく、快適に暮らすことができます。「ソーラーサーキットの家」は、1988年の誕生以来、これまでに21,000棟以上が建設されています。

### 外断熱と二重通気技術を組み合わせたSC(ソーラーサーキット)工法



### 「ソーラーサーキットの家」をZEHに

2016年、カネカは高砂工業所に「KANEKA サステナブルニュータウン」を竣工。その一角にZEHのモデルハウスをオープンしました。ZEHとは、消費するエネルギーと同等のエネルギーを発電し、年間の電力消費をゼロにする住宅のことです。

このモデルハウスは、「ソーラーサーキットの家」に、瓦一体型太陽電池「VISOLA」を設置し、蓄電池やエネルギーマネジメントシステムを導入することで、晴れた日の昼間に発電・蓄電した電力を照明やエアコンに使用し、余剰電力を売電します。見学だけでなく、宿泊できるモデルハウスとして、ZEHの暮らしやすさを体感していただいています。

今後も、カネカは、工務店の方々とともにZEHの普及拡大に取り組み、CO<sub>2</sub>の削減と同時に、快適や健康といった、住む人の「ネガイをカナエル」ソリューションを提供していきます。

#### 担当者メッセージ

多くのお客様から、「快適でした」という声をいただいています。

KANEKAサステナブルニュータウン ZEHモデルハウス コンシェルジュ

文野彩子  
中間真梨子



昨年9月のオープン以来、このモデルハウスには、多くの方々が見学・宿泊にいらっしゃいました。お子さま連れで宿泊された方もいらっしゃいます。「快適に過ごせました」「温度差がないので脱衣所で服を脱ぐのも快適」といった声や、アレルギーをお持ちの方からは、「一歩入ると、空気のきれいさを感じる」という感想もいただいています。この家は、ダンパーの開け閉め等も自動的にしてくれるので、難しいことを考えなくても、すごく快適です。

#### ステークホルダー・メッセージ

素材メーカーならではの発想と技術に期待しています。

信州大学工学部建築学科 准教授

高村秀紀様

快適性を損なわずに、環境負荷の少ない家を実現するため

の研究が、私のテーマです。快適性や省エネを達成する手段は、実は百人百様。住む人の生の声を聞き、実測・実態に即した研究が大事だと思っています。昨年の夏から、「ソーラーサーキットの家」の施主さんにご協力いただきながら、ソーラーサーキットの性能の経年変化を評価中です。カネカとの関わりのなかで感じたのは、素材メーカーは、アッセンブリのメーカーとは違う発想ができること。断熱材からソーラーパネル、蓄電池、有機ELまで作っているカネカは、いずれ独自の素材技術でZEHをさらに進化させることも、不可能ではないかもしれません。



KANEKAサステナブルニュータウンの全景。手前、「ソーラーサーキットの家」を体感できるモデルハウス

## ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)への取り組み

カネカでは、ZEB実現に向けた取り組みも進めています。

ZEBの推進には、建物の屋上だけでなく、壁面にも太陽光発電システムを導入し、エネルギー自給率を高めることが重要です。しかし、壁面に設置すると周囲への太陽光反射による光害等が発生し、導入時の支障となっていました。そこで当社は、2016年に国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)と共同で、低反射環境配慮型の太陽光発電システムを開発しました。

さらに、同年11月にオープンし

た研修施設「カネカ未来創造館」(写真)の壁面に低反射太陽電池、手摺部には光を透過する薄膜シースルー太陽電池を設置して検証を進める等、ZEB実現のソリューション提供に向けた様々な取り組みを進めています。



※ ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)建築構造や設備の省エネ、再生可能エネルギー等の活用で、化石燃料等から得られるエネルギー消費量がゼロ、あるいは、概ねゼロ、となる建築物

## Nutrition Solutions Unit



事業ポートフォリオを変革して新たな切り口で  
高収益のビジネスモデルを創出していきます

取締役常務執行役員  
Nutrition Solutions Unit 担当

天知 秀介

「Nutrition」(生きる上で必須の滋養)を「食」そのものと定義し、その価値を高めるソリューションを提供するユニットです。食の多様化に応え、美味しさや栄養など様々な付加価値を提供する特色ある食品素材や、健康の維持・増進に貢献するサプリメント素材を提供します。また、食の原点である農・畜・水産分野にも事業領域を拡大し、機能性肥料等の食料生産支援ソリューションを提供します。

特に従来までの製パン・製菓素材、サプリメントに加え、農畜産から乳製品の開発に至る新たなビジネスモデル等を創出するとともに、カネカブランドがイコール健康ブランドとなるマーケティング戦略を追求し、健康と豊かな「食」に貢献していきます。

### 健康と豊かな「食」に貢献

- ・食の多様化や豊かな食に貢献するソリューションを幅広く提供
- ・疾病予防、健康増進に貢献するソリューションの提供、素材ラインアップ拡充
- ・農業・畜産・水産分野の生産支援に寄与するソリューションを提供

### 農・畜産領域への拡大

食多様化、健康志向

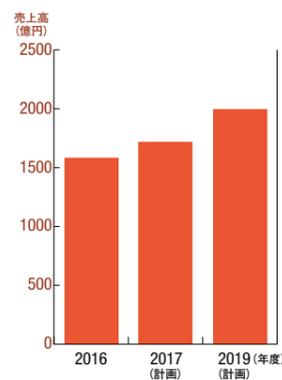


### 食料生産支援

人口増・食料問題

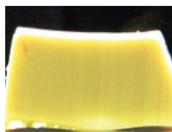


カネカペプチド  
(新・高機能性肥料)



### 食品品質向上

付加価値食品ニーズ



不凍タンパク質  
(新規食品素材)

### サプリ・健康食品事業拡大

健康志向の拡大



M&A等による製品群拡充  
サプリ新素材開発  
健食 Strategic Unit

サプリメント  
(コエンザイム Q10)

製パン・製菓素材  
(マーガリン、ショートニング、イースト)

## Health Care Solutions Unit



医療先進国で最大の市場でもある米国での知見を基に、  
ライフサイエンス分野で確固たる事業基盤を構築していきます

取締役常務執行役員 Health Care Solutions Unit 担当  
兼 Health Care Solutions Research Institute 担当

藤井 一彦

高齢化社会・医療高度化社会が進展するなかで、人々の健康増進や医療の発展に貢献するソリューションを提供するユニットです。世界レベルで展開している血管内治療カテーテルなどの医療デバイスや低分子医薬品(API・中間体)、バイオ医薬品、再生・細胞医療技術や先進的な治療・診断技術等のソリューションを提供します。

特に米国でライフサイエンスのプレゼンスを高めるために、関連情報の収集、研究機関との連携、M&Aを視野に、新たな事業機会探索を進めます。2016年、シリコンバレーにR&D拠点を設立し、ビジネスに直接結びつく研究体制も構築しています。

### 高齢化社会・医療高度化社会に貢献

- ・バイオ医薬、再生・細胞医療などの先端医療分野において、グローバルに製品開発やマーケティングを強化
- ・オープンイノベーションや米国R&D拠点積極活用
- ・デバイスと医薬の融合による価値あるソリューションを提供

### 再生・細胞医療

再生・細胞医療の実用化、普及



自動細胞培養装置

細胞分離デバイス

### 先端医療機器

新規治療デバイス

ドラッグデリバリーシステム  
生分解性ステント

### 検査・診断

遺伝子検査・疾病予防



核酸クロマト型チップ 細菌検査機器  
(遺伝子検査・診断機器)

### 最先端医薬

バイオ、核酸医薬等技術進展



プロテイン担体  
(抗体医薬精製用素材)

バイオ・核酸医薬  
(受託製造事業)



血管内治療用  
カテーテル



血液浄化装置

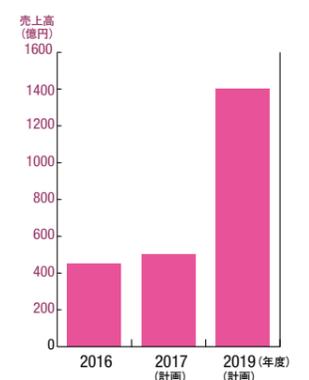


医薬品中間体・API

### 低分子医薬

API 拡大

グローバルな事業拡大



※ 2017年のデータについては、2017年5月12日の決算公表ベース

# バイオ医薬品で、 健康な社会づくりに貢献します

## Biopharmaceuticals

1980年代に実用化され、近年、著しい成長を見せている「バイオ医薬品」。世界で3億5千万人以上が、その恩恵を受けています。低分子医薬品の生産技術にバイオテクノロジーを導入することで世界の製薬メーカーと信頼関係を築いてきたカネカグループは、2010年、バイオ医薬分野への参入を果たすべく、ベルギーのユーロジェンテック社を子会社化。低分子医薬品とバイオ医薬品の両面から、健康と医療にソリューションを提供していきます。



DNAワクチン等に利用される「プラスミド」を培養生産。新たな治療法を可能にすると期待される



詳細につきましては  
ウェブサイトをご覧ください。

カネカ CSR

検索

## 低分子医薬品で培ったバイオテクノロジーを バックグラウンドに、バイオ医薬分野へ

### バイオテクノロジーの発展が 生んだ「バイオ医薬品」

バイオ医薬品とは、遺伝子組換えや細胞融合、細胞培養等のバイオテクノロジーを応用して製造される医薬品です。遺伝子 (DNA) がタンパク質の設計図であることが解明され、DNA の組換えが可能になったこと等が、バイオ医薬品の発展につながりました。従来からの有機合成技術による低分子医薬品とは異なり、生物の体内にある DNA やタンパク質を利用して作られるため、バイオ医薬品は分子量が大きく複雑な形をしています。バイオ医薬品は、生物がつくる自然の分子構造に似ているので、副作用がより少なく、多くの病気において高い治療効果があると同時に、病気の診断にも役立ちます。最近では、関節リウマチやガン等、難病とされていた疾病に対する医薬品として注目を集めています。

### 2010 年、バイオ医薬の 分野に参入

カネカは、1970 年代より、低分子医薬品を生産する有機合成技術にバイオテクノロジーを融合させ、キラル化合物<sup>※1</sup>の分野で独自の技術を開発することで、世界の医薬品メーカーとの信頼関係を構築してきました。そこで培ったバイオテクノロジーやノウハウを活用して、バイオ医薬品分野に参入するために、2010 年にユーロジェンテック社を子会社化しました。同社は、1985 年にベルギーのリージュ大学から独立した企業で、バイオ医薬品の受託製造を中心に、研究試薬や診断薬向けのタンパク、DNA、ペプチド等、ライフサイエンス製品の製造・販売を行っており、バイオテクノロジーの分野で豊富な経験と実績を持っています。

### カネカとユーロジェンテック社が 一体となった取り組みをスタート

ユーロジェンテック社がカネカグループの一員となったことは、双方に大きなメリットをもたらしました。カネカはバイオ医薬品という新たな事業

の柱を確立し、一方、ユーロジェンテック社は、カネカをバックボーンに得たことで社会的信頼性が増し、大手製薬会社からの引き合いも増えました。

技術開発においては、新たな治療を可能にすると期待されている DNA ワクチン等に利用される「プラスミド」の効率的な製造技術に関する特許を取得、量産化を実現する等、両社の研究開発部門が共同研究を加速化させています。

「バイオ医薬品開発では、ガンや糖尿病などさまざまな疾病を対象に、従来になかった新たな治療法の研究がますます活発になっています。『プラスミド』はそうした開発に欠かせないもので、今回カネカグループとして成功した量産化は、創業のスピードアップ、ひいては病気の早期発見・治療につながるものです。お客様からは世界最高水準の技術と高く評価されています。今後、大型 GMP 適合製造設備を新設し、さらに高まる需要に応じていきます」

(カネカユーロジェンテック副社長 リーベン・ヤンセン)。



※1 キラル化合物: 右手と左手のように鏡像の立体異性体を持つ物質。右手が薬効を持ち、左手が副作用をもたらすケースがある。一般的な有機合成技術では両方が生成されるが、カネカはバイオテクノロジーを応用することでキラル化合物の一方を選択的に製造することを可能とした

### カネカグループの 医薬品開発・製造ネットワーク

カネカの高砂工業所、カネカシンガポール社および大阪合成有機化学研究所において、医薬品中間体や API<sup>※2</sup>等の製造を行っている他、オープンイノベーション拠点として、大学やバイオ関連のベンチャー企業が数多く存在する米国カリフォルニア州に「カネカ US イノベーションセンター」を設置しています。また、カネカユーロジェンテック社は、ベルギーに本社とバイオ医薬品の受託製造拠点を持つ他、ライフサイエンス製品はベルギー、英国、米国カリフォルニア州にも製造拠点を持っています。

高砂工業所



カネカユーロジェンテック

大阪合成有機化学研究所



カネカ US イノベーションセンター

### 医薬品関連事業

当社グループでは、医薬品関連事業として「API、中間体」「抗体医薬精製用プロテインAクロマトグラフィー担体 (KANeka KanCapA)」「ジェネリック医薬品」「再生・細胞医療」等に取り組んでいます。

※2 API: 医薬品としての有効成分を有する原体



バイオ医薬品だけでなく、研究試薬や検査薬等バイオテクノロジー全般を取り扱うカネカユーロジェンテック。最新の設備導入、システム化や人材育成により医薬品製造に求められる品質管理の維持・強化を継続している

## バイオ医薬品、低分子医薬品、そして融合領域で、世界の製薬会社から信頼されるパートナーに

### 製薬会社のパートナーに求められる信頼性・柔軟性

製薬会社のお客様から選ばれる受託製造会社であるためには、先端技術を保有しているだけでなく、安全・安定した製品提供を行えることが大前提となります。カネカユーロジェンテック社<sup>※3</sup>では、医薬品等の製造管理・品質管理の世界基準である GMP (Good Manufacturing Practice) や、米国食品医薬品局 (FDA: Food and Drug Administration) の認証を取得することで高い信頼性を得ています。「医薬品製造には厳格な品質管理が求められます。私たちは厳しい世界基準である GMP と FDA 認証を問題なく取得しました。以来、同基準

に則った作業標準書の作成・維持・管理、社員教育や定期的トレーニング、顧客・当局による査察等、品質管理システムを維持・強化し続けています」(カネカユーロジェンテック バイオロジクス事業責任者 イングリッド・ダー)。



また、医薬品開発の初期段階においては、開発物質の構造の変更、スケジュールの変更等が頻繁に発生するため、顧客からの要望へのフレキシブルな対応能力も必要です。同社では、プロセス開発から GMP 生

産・品質管理まですべての工程を1社でマネジメントする「ワンストップショップ」として、効率的な開発支援を提供しています。これら業務に携わるスタッフをはじめ、カネカユーロジェンテック社のプロジェクトチームの専門性と対応力は高く評価され、リピーターのお客様も増えています。

### 健康な社会づくりにソリューションを提供

カネカグループの医薬品事業は、これまでも単なるものづくりではなく、お客様から提示された医薬品の構造から、独自の技術をもとに効率的な生産方法を提案するというソリューション提供型のアプローチを

とってきました。バイオ医薬品を新たな事業の柱に加えることで、提案の幅は大きく拡がりました。

カネカユーロジェンテック社では、新たな技術開発や顧客のニーズに即座に対応できるよう、同社が長年培ってきた受託製造のノウハウを軸に「バイオ医薬品製造技術のプラットフォーム<sup>※4</sup>化」を推し進めています。「私たちが医療に貢献しつづけるには、この技術プラットフォームをさらに強化する必要があります。カネカとの研究シナジーを進め、将来的には私たちがカネカグループのバイオ医薬品事業のセンター機能を担えるよう研究開発力を強化していきます」(前出 イングリッド・ダー)。

「世界トップクラスのソリューション・カンパニーであるためには、常に技術革新を起こし続けなければな

りません。カネカユーロジェンテック社では、すでに次世代のバイオ医薬品として注目されている遺伝子治療の開発にも着手しています。これからも、先進・独自の技術を追求し、医療の進化によって社会に貢献したいと私たちは考えています」(前出 リーベン・ヤンセン)。

今後もカネカとカネカユーロジェンテック社は、バイオ医薬品、低分子医薬品、そしてそれらの融合領域において、医薬品開発に不可欠なパートナーとして、ヘルスケアへのソリューションを提供していきます。

※4 プラットフォーム：第三者がビジネスを行うための基盤（技術や装置、サービス等）を提供すること

### ステークホルダー・メッセージ

カネカユーロジェンテック社は、地域と世界をつなぐ理想的な企業。

ベルギー王国ワロン地域政府貿易・外国投資振興庁 (AWEX)

CEO

パスカル・デルコミネット様(左)

アジアパシフィック部マネージャー

アイシャ・ベンマラ様(右)

AWEXは、地元企業の海外進出や外資企業の誘致・支援等を通じて、地域経済発展を目指す公的機関です。ワロン地域には現在200社以上のライフサイエンス企業があり「サイエンスパーク」としてめざましい発展を遂げています。

なかでも、カネカユーロジェンテック社はその理想的なビジネスモデルとして、地域の成長を牽引しています。同社は、顧客へ迅速で安全な治療を実現するソリューションを提供し、医療の進歩にイノベーションを起こす重要な役割を担っています。これは、患者の方々の生活の質を向上させる価値ある取り組みです。

2016年、私たちはその貢献に対して、誇りと感謝の意をもってワロン地域の欧州向け輸出業最優秀賞 (Prix à l'Exportation Europe) を贈呈しました。今後も世界の医療への貢献を通じ、カネカユーロジェンテック社がリーダー的な存在として、地域とともに発展すると確信しています。

